

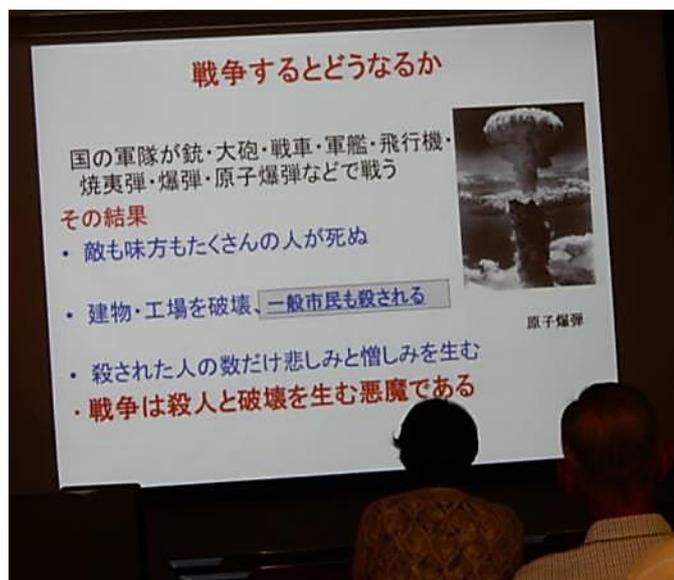
8月6日7日 シルバーカレッジの教室で、戦争体験者のお話を聞く会が開かれました。  
 グループわ 学習支援委員会「戦争と平和学習 語り部チーム」5人より、戦争や日本全土の空襲について、  
 神戸大空襲下の体験談と学童集団疎開の体験談が、小中学校での授業と同じ内容で、パワーポイントを用いて説明がありました。6日は約45人が参加して、迫力ある話を聞きました。

開会の挨拶。 渡辺寛治（国10）さん。

映像操作 加藤勇治（美10）さん。



戦争とは：「太平洋戦争の中の神戸大空襲」 濱岡吉孝（福4）さんより。



戦争の原因とその結果、日本全土の空襲の実態  
 死者 30 万人、236 万戸被災、B29 爆撃機、焼夷弾  
 など。

神戸大空襲下の体験談 西阪順三（生8）さんより。



6月5日朝の大空襲で、三ノ宮駅近くから県庁の近くまで逃げた際の実体験の話で、雨のように降ってくる焼夷弾の中を必死で逃げ惑う恐怖、悲惨な街の様子、連れて逃げてくれた消防団員の焼夷弾での死などの迫力のある話でした。この時に西阪さんの母親と姉2人がなくなったそうです。

神戸大空襲：死者 7,491 人 負傷者 17,014 人 142,000 戸被災

学童集団疎開の体験談 村田洋一さんより。



諏訪山小学校から加古川市常楽寺への集団疎開での体験談で、食べ物が少なく腹が減り蛙やいなごなどを食べたこと、田んぼの田植えや草取りを手伝い握り飯をおいしく食べたこと、ノミやシラミに苦しんだこと、家族が恋しくて泣いたことなどの実体験の話でした。

戦争のない平和な社会に暮らせることに感謝したいと！

質疑応答 渡辺寛治（国10）さん。 6日は2人の参加者より質問と意見が提出されました。